



# 大島事業所トピック

島しょ農林水産総合センター大島事業所発行  
〒100-0212 東京都大島町波浮港18  
Tel 04992(4)0381 Fax 04992(4)0383

平成19年 8月15日 [ホームページhttp://www.ifarc.metro.tokyo.jp](http://www.ifarc.metro.tokyo.jp)

## 三宅島テングサ作柄調査結果

平成19年5月から8月にかけて三宅島沿岸域でテングサの作柄調査を行いました。水深0～2mの波打ち際に生育しているオオブサ(地方名:アラメ)は島の北西部から北東部にかけての岩礁帯で広範囲に群落が形成されているのが確認できました。藻丈は長く、藻体には付着物が少ないため、品質も良好でした(図1、写真1)。一方、水深5～15mに生育しているマクサ(地方名:ケグサ、スギグサ)については、噴火の影響で回復が遅れています(図2、写真2)。オオブサ同様、島の北西部から北東部の10～15mの深場では比較的にまとまった群落が形成されていましたが、噴火前の代表的な漁場であった南東側の坪田地区ではまだ非常に少ない状態が続いております。三宅島は「テングサの島」と言われる位テングサ漁業が有名ですが、現在、オオブサを中心漁業が行われております。当所では今後、回復が遅れているマクサを中心に、引き続き調査を続けていくとともに、マクサ資源回復のための方策として、漁場造成試験も併行して行っていきます。



図 1



写真 1



図 2



写真 2

## 黒潮はB型流路で経過、10月にはC型に移行

平成19年7月24、25日に神奈川県横浜市において、漁海況予報会議が開催され、平成19年8～12月の海況予測が発表されましたのでお知らせします。

海況予測(2007年8～12月)

黒潮は期間中、8～9月はB型、10～12月はC型で推移する。蛇行規模は8月に大きくなり、その規模が維持される。

水温の予測

伊豆諸島北部海域の水温はB型の時に「高め」～「きわめて高め」、C型の時には「やや低め」～「低め」になると予想しました。

現在の海況

現在の黒潮流型は、伊豆諸島の西側を北上するB型です。伊豆諸島北部全体が暖水に覆われ、定地水温は「高め」～「きわめて高め」で推移しています。現在の蛇行規模は黒潮の南端が北緯32°30'N付近にあります。8月の後半には蛇行規模がさらに拡大し、黒潮の南端が32°N付近になると予測されています。現在のところ、6ヶ月間の予測を提示していますが、海況状況に変化があった場合、改めて最新の情報を皆様にご報告したいと思います。なお、海況の変化によって漁模様も大きくかわるので、今後の「一都三県漁海況速報」にご注意下さい。



黒潮の流型

(海上保安庁海洋情報部HPを参考)